

## 当院の紹介

当院は「地域の医療環境が整い、人々が安心して生活できるようになれば、それが町の発展につながる」という理念のもとに昭和 43 年より開設され、約 45 年間にわたり刈谷市北部の地域医療を担ってきました。スタッフ全員が一丸となり地域の医療環境づくりを一番に考え日々精進しております。

周辺の関連機関との連携も積極的に進めています。当院の立地は藤田保健衛生大学の豊明校地から車で約 10 分の距離にあり非常勤の先生による診察や各種研修会への参加など最先端の医療に触れる機会がたくさんあります。また、中京大学スポーツ科学部との交流もありオリンピック金メダリストなどの一流スポーツ選手も来院されたことがあります。

## リハビリテーション部門の特色

外科病院として歴史のある当院ですが、近年はリハビリの体制強化も図っています。当院の強みは主に 3 つあります。一つ目は、療法士が医師や看護師と気軽に情報交換できることです。活動障害に焦点をあてたリハビリ医学が扱う領域は基礎から応用まで幅広いいため各診療科を横断的に交流できる環境づくりに努めています。二つ目は、患者さんと急性期から社会復帰まで一貫して関わることができる点です。我が国は急速な高齢化により障害者数が激増していま

す。そのためリハビリ医療においても急性期・回復期・生活期の機能分化が進み各医療・福祉機関との連携がますます重要になってきています。当院でも外部機関との連携を大切にしておりますが、もともと当院の一般病棟では急性期の入院患者さんを多く受け入れてきました。必要に応じて外来リハビリも提供してきました。そこに平成16年には回復期リハビリ病棟も整備されたため当院だけでも急性期から回復期を経て在宅復帰後のフォローまで一貫したリハビリを実践できる体制があります。スタッフからすると地域で患者さんを支えている実感が得やすく経過を追った臨床経験を積むことができます。三つ目は、若くて勉強熱心な療法士がたくさんいることです。仲間と切磋琢磨して臨床に役立つ研究にも取り組んでいます。人材育成を最重要テーマとし、各自の長所を活かしながら「臨床」「研究」「教育」「運営」をバランスよく展開できることを目指しています。

## 課題と展望

一般病棟では医師や看護師をはじめ他職種との連絡体制をさらに強化して発症早期から綿密なリハビリ計画を立てられるようにしていきます。回復期は患者さんの機能および能力を最大限に回復できるように各療法士がスキルアップするとともにチーム医療を円滑に進めて質・量ともに十分なりハビリを提供できるようにします。外来リハは医療費抑制の厳しい社会情勢の中で患者さんの

多様なニーズに応えなくてはならない難しい運営が課せられています。そこで、平成 24 年 4 月からは訪問リハビリを同年 11 月からは通所リハビリを開始しました。急性期や回復期で磨いている専門性の高いリハビリ医療を在宅復帰後の生活期においても実践していきます。

2013 年 5 月 20 日：更新